



# 考えよう 相手の気持ち

12月4日から10日は人権週間。とくに10日は「世界人権デー」です。6日の全校朝会では人権週間の標語「みんなで築こう人権の世紀～考えよう相手の気持ち未来へつなげよう違いを認め合う心」を紹介しました。

「おまえなんか 嫌いだ」「おまえとは遊ばない」「あいつ 嫌いだから 仲間はずれにしよう」「馬鹿」「きもい」「死ね」「汚い」

こう言われたら、みんなはどう思いますか  
どういう気持ちになりますか。

自分が言われて嫌なことは、人にも言ってはいけない。絶対に言ってはいけないことです。人間として、あたりまえのことですと話をしました。

でもみんなは、よく口喧嘩とかしてしまいます。そういうときはどうしたらいいですか  
そのときは「なかなかおり」するしかないねと話を続けました。そして、詩を読みました。

いろいろな場面を通して、相手の気持ちを考えられる教育活動をこれまでもしてきましたが、今後も引き続きやっていきます。ご家庭でも人権について話題にしてみてください

なかなかおり

こだぬきしんご

あのこと けんかしちゃったな  
どうして けんかしちゃったんだろう  
なんだか うまくいかなくて  
ちっちゃなことで いきちがい  
おたがい つんつんしちゃったよ  
・・・はあ やれやれ  
なんとか なかなかおりしたいなと  
あーとか うーとか かんがえて  
ハッタと きがつく「あ、そうか」  
くよくよ かんがえすぎてぞ  
まずは「ごめん」といってみよう  
・・・おお そうだ！  
そしたら…どうなったとおもう？  
あのこもすぐに「ごめん」って！  
おんなじ きもちだって  
「でも」とか「けど」とか「しかし」とか  
そんなことばは いらないよ  
・・・うん まったくね  
そうさ ぼくたち「なかよし」だから  
「のはらうた」工藤直子 から

第2回 PTA家庭教育学級 12/11(月)

## 夢を叶えるために

発砲スチールを自在に切り抜いて、様々な作品を作る芸人、ハッピーくんが家庭教育学級に来てくださいました。「小さいときに興味のあるものをさがして頑張ってください」という素敵なメッセージをいただきました。ハッピーくんこと高橋さんは群馬県前橋の出身です。小学校の頃目指していたのは、学校の先生、お笑い芸人、絵を描く人だったそうです。夢を叶えた高橋さんですが、子どもたちの夢は何ですかという質問に、「大ブレイクすることです」と答えていました。子どもたちに素敵な夢をありがとうございました。



▲1分足らずで私の横顔を切り抜いていただきました

